

年間指導計画表

教科・科目	国語・古典B	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科・普通 第3学年(理型)

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	古典としての古文と漢文をよむ能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材等	○教科書 「高等学校古典B古文編 改訂版」(三省堂) ※2年次に引き続き使用する。 「高等学校古典B漢文編 改訂版」(三省堂) ※2年次に引き続き使用する。 ○副教材 「さくらさく古文単語」(浜島書店) ※継続使用。 「漢文必携 四訂版」(桐原書店) ※継続使用 「3プラス応用古典」(尚文出版) 「進研センター試験対策国語重要問題演習 古典」(ランズ) 「2019年度版センター赤本シリーズ センター試験過去問題研究国語」(教学社)

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	ノート、授業態度、提出物	25%
b. 読む能力	古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	提出物、定期考査、小テスト	50%
c. 知識・理解	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。	提出物、定期考査、小テスト	25%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点		
					a	b	c
前期 (第1回)	4	4	『笈の小文』(松尾芭蕉)	・俳論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・俳諧に対する興味・知識を深める。	○	○	○
		2	『去来抄』「行く春を」	・俳論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・俳諧に対する興味・知識を深める。	○	○	○
	5	5	『蜻蛉日記』「うつろひたる菊」	・日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。	○	○	○
		6	8	『孟子』「不忍人之心」	・中国の主要な思想である儒家の主張の概要を理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・反語・限定・疑問・仮定・二重否定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・古代中国の思想から現代に通ずるものの見方・考え方を知る。	○	○

		1	『老子』『大道廃有仁義』 『莊子』『渾沌』	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の主要な思想である道家の主張の概要を理解する。 ・儒家の思想との違いを理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・比較・選択・疑問などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・古代中国の思想から現代に通ずるものの見方・考え方を知る。 	○	○	○
前期 (第2回)	7	8	『和泉式部日記』『夢よりもはかなき〜』	<ul style="list-style-type: none"> ・日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・物語的な日記の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・和歌の贈答について理解し、恋愛感情の高まるさまを読み取る。 	○	○	○
	8 9	8	『唐宋八大家文読本』『捕蛇者説』(柳宗元)	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の代表的な文章を読んで、作者の人生観・政治論・名人論を知る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・比較・反語・仮定・疑問・限定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・作品の内容・文章表現を理解し、自己の思考と表現力を高める。 	○	○	○
後期 (第3回)	10 11	14	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の知識にもとづき、文章を読んで、その内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・古典文法、句形などの知識を用い、設問の意図を理解したうえで、的確に解答を作成する技術を身に付ける。 ・作品の内容・文章表現を理解し、自己の思考と表現力を高める。 	○	○	○
後期 (第4回)	12 1 2	20	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の知識にもとづき、文章を読んで、その内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・古典文法、句形などの知識を用い、設問の意図を理解したうえで、的確に解答を作成する技術を身に付ける。 ・作品の内容・文章表現を理解し、自己の思考と表現力を高める。 	○	○	○
【その他】							